

人間力を引き出す“実践哲学対話”の手法で、
ビジネスリーダーに求められるリーダー哲学を創成する

リーダー哲学 養成講座

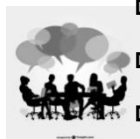


~to Build your Vision and to Be a Success as a Leader~

国内経済の成熟化、少子高齢化、グローバル化など日本の産業界は多くの課題を抱え、進むべき方向性が見極めが困難な時代となっています。企業で活躍するリーダー（経営職）には、これまで以上に深い洞察力、明晰な思考力、的確な判断力、多様性への適応力などが求められています。

本プログラムでは、欧米の企業研修に活用され始めている実践哲学対話の手法を導入し、難しい意思決定の基盤となる個々人の価値観を創成し、自己成長を促しながら、人間力豊かな魅力溢れるリーダーの育成を目指します。講座修了後には「私にとっての経営とは何か」についての洞察が深められ、経営職を目指す人に必要なリーダー哲学を身につけることができます。

ビジネスパーソン向け実践哲学対話とは



- 経営に関連したテーマを設定したうえで、経験豊富な哲学プラクティショナーがファシリテーターとなって、10人程度のグループごとに徹底的に討論します。
- 参加者は、他の参加メンバーの話の聞いたり、自分の意見を述べる中で、次第にテーマに関する考察を深めることができます。
- 哲学プラクティショナーは、哲学的思考法や理論などに精通しており、時には哲学的質問を繰り出しながら、参加者の思考を深く掘り下げていきます。
- 参加者は哲学理論をあらかじめ習得しておく必要はありません。「企業とは」「働くとは」「責任とは」などの身近な話題から対話を始めますので、誰でも参加できます。

【プログラム】

	第1回 企業と社会	第2回 個人と企業	第3回 経営と意思決定	第4回 人と組織のマネジメント
学習項目	①企業と社会 「市場・競争・自由とは何か」を出発点とし、「企業の役割」について考察する 【Key Words】 三つの公共圏：政治/経済/市民社会、市場原理：市場・自由・競争・ルールなど	①働くということ 自らの働き方・生き方に向き合いながら、個人と企業の関わりあいについて討議する 【Key Words】 個人と会社の関係：資本家と労働者／経営者と従業員／管理者と被管理者など	①よい意思決定とは 組織の成長のために必要な意思決定のあり方を討議する 【Key Words】 規定的判断力・反省的判断力、合理性と非合理性、イマジネーション（構想力）など	①人を動かす どう人を動かし、組織を率いていくべきかについて討議する 【Key Words】 人を動かすものとは（権力・権威、契約、信頼）、会社にはどんな「権力」があるのかなど
	②グローバル化の倫理 企業のグローバル化が開発国に引き起こす社会的課題に触れながら、倫理的な側面から事業活動について考察する 【Key Words】 企業の責任とは、グローバル化の功罪など	②幸福とは何か 働くということを基点として、自由や幸福、豊かさについて探究を深めていく 【Key Words】 人間の生きる目的、個人の自由、幸福とは何か、物質的豊かさと精神的豊かさなど	②責任とは リーダーの意思決定に生じる「責任」について考察する 【Key Words】 あなた-わたし関係のなかで生じる責任と義務、説明責任と応答責任、組織への責任など	②組織を成長させる 持続可能な組織をつくるために、いかに現状を打破し、成長し続ける組織を作っていくかを探究する 【Key Words】 経営と労働者の協働を可能にするものは何か、自由との対比、学習する組織と持続的な成長など